

農林大学校

# 耕土耕心だより

今、農林大学校では

## 1. 富丘会総会及び学科学級懇談会が行われる

5月16日に、保護者会にあたる富丘会の総会が行われ、今年度の役員が選出されました。またその後の部・学科別懇談会では、担当職員と保護者の方々との意見交換が行われました。

## 2. 校内球技大会が行われる

5月25日に恒例の球技大会が行われました。種目は男女のバスケットボールとサッカーでしたが、当日、降雨のためサッカーはドッジボールに変更になりました。いずれの種目も園芸学科2年生チームがチームワークを発揮して優勝しました。



バスケットボール男子優勝チーム



バスケットボール女子優勝チーム

## 農林大学校の取組み

### 1. 一年生の田植え実習が行われました

毎年恒例の養成部1年生の田植え実習が5月16日（水）の午前中に行われました。今年は日程の都合で、園芸学科（38人）と果樹学科（10人）の参加となりました。

朝9時に農林技術研究所の三ヶ野圃場へ集合し、栽培技術部の担当者から田植えの解説を受けた後、田んぼに入り田植えを行いました。

植えた稲は、種籾の元になる原種で、糯品種の「するがもち」でした。そのため精度の高い田植えが必要で、また面積が13aと多いため時間内に終わるかどうかが心配でした。しかし今年の養成部1年生は農業高校出身者が多く、全体の三分の一程度の学生が田植えの経験者であり、効率良く田植えができ、午前中にすべて植え終わることができました。

未経験の学生も、経験者の学生に教えられながら楽しそうに田植えをしていました。終わってから田んぼの作業もいいもんだと話していました。

農林技術研究所でも最近は機械植えを増やしていて、手植えで行う田植えが少なくなっています。しかし手植えでなければできない試験研究もあるので、それらを手伝う意味から今後も田植え実習は

続けていく予定です。



## 2 . 先進経営研修が始まる

5月24日、県内5農林事務所管内で先進経営研修受入式が行われました。先進経営研修は、長年続く本校の重要なカリキュラムの一つで、養成部2年次の学生が県内の先進経営体のお宅に宿泊し、生活を共にしながら技術や経営等を学ぶものです。研修期間は約2ヶ月間と長く、学生にとってたいへんな研修ですが、研修終了時には一回り大きくなって学校に戻ってきます。

今年、4月12日にすでに茶業学科の7名が研修に入っていますが、この日は茶業学科7名、果樹学科5名、畜産学科9名、合計21名の学生の受入式が行われ、7月20日までの約2ヶ月間の研修に入りました。また、10月、11月には園芸学科、林業学科、果樹学科の残りの学生が研修に入ります。

### 6月の主な行事予定

日	行 事(内 容)	担当部・課
5日(火)	<b>花と緑のアグリ大学開講式</b> 19年度のアグリ大学がスタートする。野菜コース、花きコースに加えイチゴ、茶コースが追加され、受講生20名が共通18回、コース別10回の講座を月2～3回のペースで学習する。	教務課
7日(木)～	<b>学生募集に関する高校訪問開始</b> 県下の高等学校104校を職員が訪問し、19年度の学生募集に関する広報活動の充実を図る。	学生課
8日(金)	<b>第1回先進経営研修終了式(茶業学科)</b> 4月13日から研修に入った茶業学科学生7名の終了式が行われる。	教務課
12日(火)～ 20日(水)	<b>園芸2年生機械基本研修</b> 本校の特色ある科目の一つ「農業機械論」で、養成部2年生全員が履修する。大型乗用トラクターを中心に農業機械の整備等の基礎知識と運転技能を学ぶ。	教務課
11日(月)	<b>花と緑のアグリ大学第2回共通講座</b>	教務課
26日(火)	<b>花と緑のアグリ大学第3回共通講座</b>	教務課